

# 情報通信の、その先へ

情報流通行政局情報流通振興課主査

**松岡 遼太郎**

MATSUOKA Ryotaro

平成21年10月 総務省採用

情報流通行政局郵政行政部企画課

平成22年 7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課

平成24年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課

平成26年 8月 大臣官房秘書課

平成28年 7月 現職

## Some One Week

### Monday

課内意識合わせのための打合せで一週間が始まる。

### Tuesday

金曜×作業の進捗が思わしくない。あらかじめ発注元に最終期限を確認しておかなければ。

### Wednesday

明日の国会で情報利活用の分野が問われるとの報。答弁作成の調整業務に東奔西走…

### Thursday

会議の報告書案を上司にあげたところ、修正意見をたくさんいただく。勉強になります。

### Friday

火曜の読み通り、担当者の作業が終わらず。先手の対応が役に立った!



## 『情報通信の「営業職」』

情報通信の分野では、情報の流れを階層立てて「レイヤ」と呼びます。例えば物理的な電線や電波の「物理層」や、通信の行き先を決めるルールの層である「ネットワーク層」などです。現在私は、この中で上位レイヤと呼ばれる「情報の利活用」、つまり情報通信を使って何をするのか、「その先」を考える部署である、情報流通振興課で、総括ラインという仕事をしています。

総括ラインの業務内容は、作業を担当者に割り振ったり、進捗を管理したり、他部署組織との調整、作業結果をとりまとめたり、いわば交通整理役です。民間企業ではあまり聞かない部署ですが、外から案件を取ってきて事業部に業務をお願いし、成果を外に返してフォローする、いわば営業職のようなものだと考えるとわかりやすいかもしれません。

日々大量に押し寄せる案件を、どうさばき、担当者にうまく処理してもらうか。パズルのような毎日は大変ですが、しかし、やりがいのある仕事です。

## 『最先端を、全力で』

昔、テレビコマーシャルに「♪小さなことから大きなことまで…」という歌がありましたが、総務省の仕事はまさに幅広です。IoTやAI、ビッグデータで第四次産業革命、などという世界レベルの壮大な話から、地域情報化で地方創生という地方レベルの話、はたまた働き方改革にICTを活用してワークライフバランスを実現する個人的な話まで、どんなジャンルでも分野の最先端の仕事を経験できます。

幅広い分野の仕事はまた、様々な知識や経験が生きる仕事でもあります。私は法科大学院を卒業してから入省しましたが、法律を勉強していて良かったと思った事は数えきれません。また、文系の事務官であっても、情報通信など、技術的な知識が求められることは多々あります。知識を常にアップデートし、これまでの経験を整理し、思考力をフル活用して、最後は度胸を持って業務に当たる、自分の持つ力を総動員する仕事を任せてもらえるのは、総務省の魅力の一つだと思います。



## Private Time

旅行が好きなので、夏休みは長めに取り、サハラ砂漠やオーロラ観測など、海外を周遊しています。

週末も、時間を見つけてはちょこちょこ遠出して、温泉や自転車、果てはダム巡りなどを楽しんでいます。